

漆喰^{しっくい}と暮らそう

SHIKKUI LIFESTYLE MAGAZINE

漆喰×可能性

特集

漆喰×建築

人と街、未来をつなぐ漆喰

漆喰工事 インタビュー

漆喰壁で、もっと自由で、
もっと美しく、もっと有意義に。

.... and more

お知らせ

第60回 JAPAN DIY
HOMECENTER SHOW
2024に出展します!

詳しくは12ページをご覧ください。

vol. 3

AUGUST 2024

「漆喰と暮らそう」は、漆喰大好き!な、日本プラスター株式会社のコミュニケーション誌です。

神奈川県相模原市の閑静な住宅街に佇むスタイリッシュな建物。一階入口にあるシェアキッチンでは地元の方が飲食を楽しみ、二階はシェアスペースとして様々なイベントを開催。「フチノベース」と名付けられたこの場所、実はここ淵野辺で50年以上続く会計事務所のオフィスなのです。真っ白な漆喰が美しい壁と天井、特に事務所の壁は社員全員で仕上げたDIYの壁。なぜ、会計事務所のオフィスがこのような造りになったのでしょうか？その経緯を、設計を担当した建築家の加藤比呂史さんと、榎本会計代表、榎本充さんに伺いました。

漆喰 × 建築

SHIKKUI LIFESTYLE MAGAZINE INTERVIEW

- 事務所2F:漆喰くるむ内 白/左官仕上げ
- 事務所1F:漆喰うま〜くヌレール 白色/社員のみなさんによるDIY

人と街、 未来をつなぐ漆喰

榎本充さん

榎本会計代表・税理士。加藤さんと同じ武蔵野工業大学工業部建築学科(現・東京都市大学)で建築を学ぶ。大学卒業後は家業を継いで、税務会計の世界へ。2016年に事務所代表に就任。
【榎本会計／フチノベース】
神奈川県相模原市中央区淵野辺4-18-11

加藤比呂史さん

建築家、KANA LLC. 代表社員。藤本壮介建築設計事務所を経て、2010年にデンマーク・コペンハーゲンに渡り、ヨーロッパを中心に「COBE」「KATOxVictoria」「Ramboll HQ」など、建築設計や公共空間のコンセプトディベロップメントに従事。また、栃木県佐野市のまちづくりPJや、明治大学、東京都市大学と協働した街づくりの企画やワークショップなど多角的に展開中。

オンラインの時代に考える。

オフィスとはどのような場所であるべきか。

榎本さん：榎本会計は1970年に父が神奈川県相模原市に事務所を構えたのが始まりです。2016年には私が父からその事務所を引き継ぎました。当時の事務所は同じ市内ですが、こことは違う場所であって、これが「ザ・事務所」って感じの場所だったんですね。なんだか暗い印象で、一階が駐車場で二階が事務所という造りだったのですが、そもそも会計事務所という場所自体が入りにくいのに、上で何をしているかも見えないから尚更入りにくい。お客様も高齢になってきているし、そもそも平成元年に建てたビルだったので老朽化も進んでいました。それで、これはもう作り直そうと考えて、大学の同級生でもあり加藤さんに連絡を取ってみました。

加藤さん：榎本さんからの依頼を受けた頃はコロナ禍の真っ最中で、在宅で働くスタイルが浸透してきた頃でした。そんな状況でありながら事務所を作るわけです。なので、僕はここを「来る意味のある場所」にしたいと考えました。

これって、すごくシンプルな課題ですけど、切実な課題でもあって、同時にすごく本質的な課題でもあると思うんです。生活をしていると、人生の半分とまでは言

いませんが、結構長い時間を会社で過ごしていますよね。それなのに、そのオフィスが暗い雰囲気ではもつたない。だから、この場所がただ詰め込むように仕事をする場所ではなく、「来る意味のある場所」であって欲しいと考えました。

では、「来る意味のある場所」とはどんなところかと言うと、ひとつは「自分の家のような居心地」の場所。そして、「いつも何かが起きている場所」だと僕は思います。いつも何かが起きている、居心地の良い明るい場所に「行こう」と思うモチベーションは、暗い会社に行っても電気をつけて働こう…と言う心境とは正反対ですよ。

ちなみに、事務所が立つ前のこの土地はうっそうと木が生えて暗いイメージだったので、そのイメージを変えて街に対して開かれた場所にしよう、そしてこの街の一部になるのだから、街に何かしら返していきたいよねと、榎本さんとは最初からそう話していました。こうした考えの中から、いくつものアイデアを出し、今のこの形に落ち着きました。

榎本さん：事務所の入り口にはシェアキッチンがあって、曜日ごとに異なるお店が営業をしています。そこを通過して中

に入ると会計事務所があって、二階はシェアスペース。ここでは音楽イベントやマルシェを開催したりしています。

事務所がオープンした時はみんな驚いていましたよ。榎本会計の事務所ができることは看板で分かっていたけど、でき上がった建物がこれなので、「カフェなの？」、「これって会計事務所の形じゃないよね」とか。別に狙ってそうした訳じゃなかったのですが、会計事務所っぽくないものにしたかったので、ある意味狙い通りなのかな。



天井まで漆喰で仕上げた二階のシェアスペース。「ここは素足が気持ちいいですよ」と靴下を脱いで話される榎本さん。自然と心が開放される集いの空間。

2F
share space ➤

閉鎖していた 殻を「開く」。 その繋ぎ役が 漆喰でした。

加藤さん..建築のいいところって2つあって、ひとつは必ず完成すること。もうひとつは誰でも参加できることです。だから僕は必ず施主の方には部分的にでもいいから建設に関わった方がいいよ、楽しいよって言います。

この、本来プロにしかできないことを、外に向かって「開く」思考って重要だと僕は思っていて、「漆喰うまくくヌレール」はこの「開く」という考え方にちょうど合っているなと思いました。

要するに、漆喰ってむちゃくちゃ難しい物に感じますよね。でも、「漆喰うまくくヌレール」だとそれがなんとなく塗れるし、塗ってみたら楽しい。更には、塗り始めと最後を比べたら、ちゃんと成長している。こういう発見があるのもいいですよ。

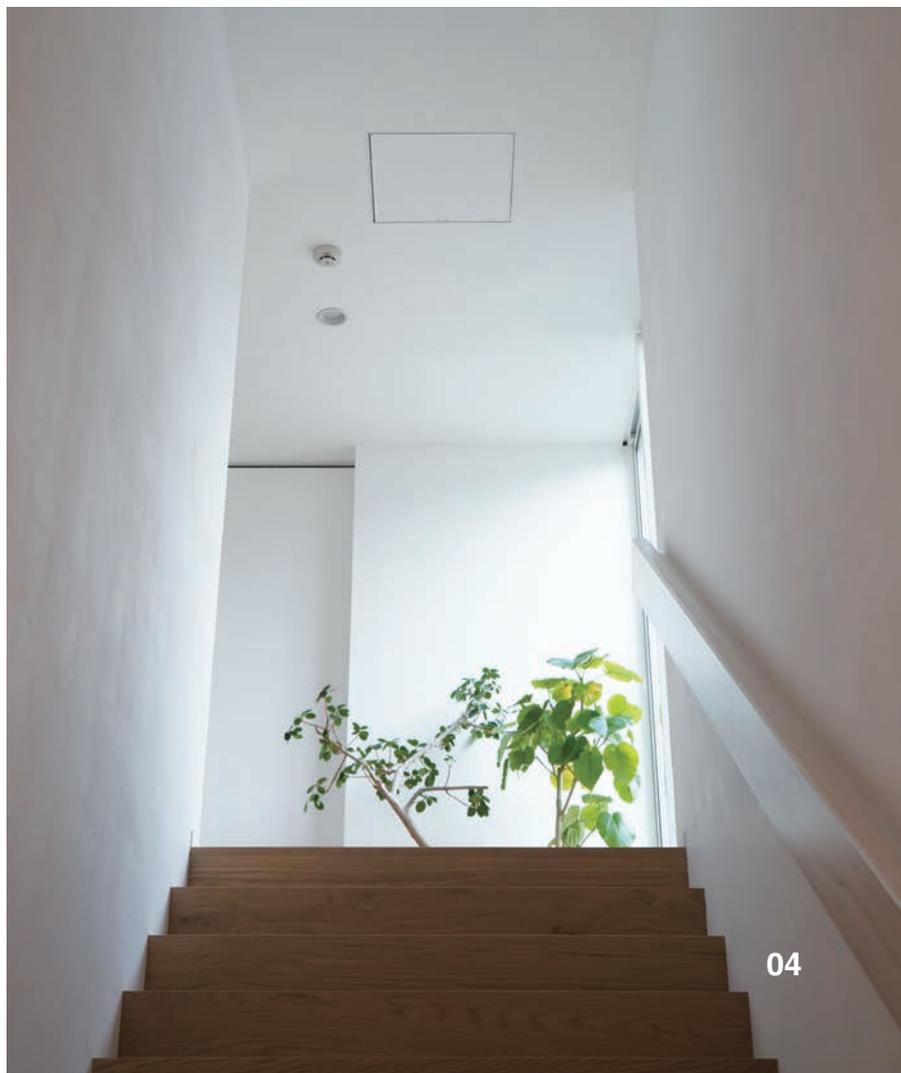
榎本さん..当然ながら、私は漆喰を塗るのは今回が初めてです。でも、最初に加藤さんから壁を塗ってみないかと提案をもらった時に思ったのは、自分たちで塗ることでスタッフのみんなが事務所に愛着を持ってくれたらいいな、大切に扱ってくれたらいいなってこと。それで即決しましたね。

加藤さん..みんなで塗ったのは事務所部

分で、天井と二階はプロの左官に塗ってもらっています。漆喰塗りには全員参加してもらいましたね。

榎本さん..スタッフ全員、一度は塗ろうと言ったことで、初日はみんなで集まりました。塗る人が10人ぐらいいるから、1日、2日で済むのかな..なんて素人考えで思っていたけど、範囲も広くて全然終わらなくて。仕事の合間に30分あるから少し塗ろうとか、漆喰を塗ってから打ち合わせ場所に駆けつけるなんてこともあったな(笑)。こんな感じでコツコツ進めて、3週間ぐらいかけて完成しました。めちゃくちゃ楽しかった。

加藤さん..うん、楽しかった、楽しかった。
榎本さん..塗り方を工夫しながら続けていると、さっき加藤さんが言ったように、それなりにうまくなるんですよ。それも面白かったなあ。



呼吸する壁と 一緒に働く。

加藤さん..漆喰のいいところは、機能性の面で言うと空気。空気が断然いい。新築特有の匂いがしないですよ。

榎本さん..ああ、それよく言われる。「木の匂いがする」って、今でも言われるよ。新築の匂いってケミカルな匂い

だけど、それが無いのだろうなと思って
います。ビニールクロスも、もちろん良し
悪しあるとは思いますが、僕は建築の素
材そのものが呼吸していて欲しいと考
えるので、漆喰はいいですね。なんて言
うかな……空気が新鮮な感じがします。で
も、それ以上がいいと思うのは見た目と
愛着ですね。デコボコした感じや、一階と
二階で表情が違ってくるのもいい。そし
て自分で塗ったことによる愛着は全然違
います。

加藤さん…毎日長い時間を過ごす場所
なので、空気はもちろん雰囲気も大切で
すよね。空間的な話で言うと、漆喰の白
には「解像度」があると思います。ここ
も構造自体はとてもシャープな作りな
のですが、漆喰のおかげで優しい感じが
しますよね。光の回り込みも綺麗で、窓
からパシッと入ってきた明かりが、漆喰
の表面で割れていくような感じがいい。
僕はこれを壁の「解像度」と話してい
ます。

榎本さん…そう言えば、二階のシ
ェアスペースでフルートのコンサート
をした時、来ていただいた方がみんな
「音が良かった」って喜んでくれた
よね。天井が高いつつ、漆喰もある
と思うけど、漆喰も関係しているん
じゃないかな。

加藤さん…そうだね。ここはそも
そも、建物としては音響のことを考
えた造りにはなっていません。それ
でも音がよく聞こえたのには、表
面がポーラス状（多孔質）の漆喰
であることも、関係しているの
ではないかと僕は思いますね。



ここを拠点に
人が集まり街が育つ。
そんな未来を
建物と楽しみたい。

加藤さん…建物が建って私の仕事として
は区切りがついていますが、これで
終わりではなくて、ここを拠点に榎
本さんが今、様々なチャレンジをして
いるって感じですよ。

榎本さん…よく「淵野辺らしくない」
なんて言葉をもらいます。元々、淵野
辺は住んでいる人は多いけど、買い物
や飲みに来るような街ではありません。
でも、そこに人の集まる場所がで
きたってことが、街にとっては結構重
要なこと、この土地が「わざわざ行
こうかな」って言ってもらえる場所
になれば、後に続く建物や出店され
る方も増えてくる。こうして、街が育
っていくんだって、まだスタートした
ばかりですけど、僕はそんな期待と
印象を持っています。これからも建
物と一緒にいろんなことができたらい
なって思います。

貴重なお話を
ありがとうございました。

漆喰七変化

漆喰

ART

SHIKKUI LIFESTYLE MAGAZINE INTERVIEW

日本には古来より「鏝絵」と言う装飾技法があります。小さな鏝（こて）を使い、漆喰で花鳥風月などを描くレリーフのことで、空気に触れると硬化する漆喰の特性を活かした技術であり芸術です。このように漆喰には芸術的な側面もあり、今尚多くの人を魅了しています。

今回お話を伺った画家のMOMOCOさんもその一人。漆喰との出会いや、作品、活動について伺いました。

人とアートを

つなぐ画材は自然由来
のものを使いたい。

ぴったりの漆喰。

私の活動で多いのは壁画ですが、最近では日本橋ガレリアで開催された TOKYO FLOWER CARPET 2024[®]、花びらだけを使った巨大アートを作りました。それと、皆さんの目の前で描くライブペイントも多く、世界的なスニーカーのイベントでは、お客様が会場に持ち込まれたスニーカーに、私がその場でペイントをして即お渡しする、といったパフォーマンスを行ったこともあります。

こうした活動の中で、私は画材にはオーガニックなもの、自然由来のものを使うことにこだわっています。と言うのも、一般的な絵の具には有害物質が含まれていることが少なくなくて、ライブペイントなどではそばに観客もいらつしゃいますし、私自身が画材に不安や心配を抱えながら描きたくない。そう言うのって、やはり見る方にも伝わってしまおうと思いますし……。

そんなとき、栃木県小山市の町おこし協力隊の方から、空き家をリノベーションした「エアクラフトギャラリー」と言うギャラリーでの個展のお話をいただきました。ご担当者の方と個展の内容につ



いて話す中で「漆喰も面白いのでは？」と漆喰うまくくヌレールを紹介していただきました。

ご提案を受けてから、自分なりに漆喰について調べてみたところ、元々はサンゴの化石という天然由来のもので、漆喰の壁は呼吸する壁と言われ、身体にも優しいことなどが分かってきました。

それに、色もすごく素敵ですよ。自然な色だからか、スツと入ってくる感じがします。キラキラした感じではなくて、とても癒やされる感じ。そういうところも含めて、とてもいいなと思いましたので、画材として使用することに決めました。

MOMOCO さん

「色」をこよなく愛する画家。磨き上げられた色彩感覚と、枠にとらわれない作風で壁画やパッケージデザイン、ライブペイントなど様々な形で表現される作品は「進化し続けるアート」と評される。Googleが選んだ日本人アーティスト9人、NIKE JAPANが選ぶ東京を代表するアーティストにそれぞれ選出された、今を彩る画家。





ポップアートと ストーリーの遠近感。

漆喰で絵を描いたのはこの時が初めてだったので、どのぐらいで漆喰が乾くのかとか、乾くと色が変わるってことも分からなくて、最初は本当に手探りって感じでしたね。

最初はキャンバスに絵を描くように筆で描いてみたのですが、それでは絵の具のように平らにできなくて。でも、それはそれで砂浜のような表現ができそうな感じがする。漆喰だからこそ厚塗りができ、立体感が作れるということが分かってきたので、今まで描いてきた油絵の経験を活かして、漆喰で立体的な波を表現しました。

そして、小山で開催される個展のタイトルは「HO!ART」にしました。鉄道模型などに使われる実寸の1/87の規格を「HOゲージ」と呼ぶのですが、「HO!ART」はこの1/87サイズの人形を使って、小さな世界を作るアートです。

人形と絵をただ組み合わせるよりも、漆喰ならではの立体感が加わることで、物語のある作品になったと思います。個展をご覧になったお客様は、同じ作品でも見る角度によって、見え方が違う点を感動されていましたね。

おかげさまで作品の評判はとても良く、自分でもびっくりするほどでした。個展が終わってからも、HO!ARTを描いて欲しいと言うご依頼をいただいています。漆喰は人気ですね。

今ではすっかり
漆喰ファン。
アートを通じて
漆喰の
魅力を伝えたい。



今では私自身がすっかり漆喰のファンです。創作意欲も新しいアイデアも次々と湧いてきます。今は、次の展示会の準備などでバタバタしていて落ち着きませんが、早く漆喰を使った新作も作りたいです。漆喰で作品を作るのとはとても楽しいですよ。

先ほど画材の話をしました。が、日本のアーティストであるからには、日本の素材を使いたいとも思っていました。漆喰はそういった点でもびったり。特に今回の「HO!ART」のような立体アートは海外でも人気が高いので、アートを通じてより多くの人に、漆喰の魅力と機能性までも知ってもらえたら嬉しいですね。



漆喰うま〜くヌレール 漆喰DIY教室へようこそ！

東京と京都にある漆喰うま〜くヌレールLABOで行われる漆喰DIY教室では、基本的な漆喰の塗り方はもちろん、漆喰に関する基礎知識を学ぶこともでき、97%のお客様から「とても参考になった」とご好評いただいています。

漆喰 体験

SHIKKUI LIFESTYLE MAGAZINE INTERVIEW

ご来場していただいたお客様に聞いてみました！

Q.漆喰の魅力はどこ？

1位 調湿性

2位 仕上がりの良さ

3位 天然由来の安心感

漆喰の基礎知識を学んだ結果か、漆喰の機能性を魅力に上げる方がとても多いのが特徴的。

Q.施工予定場所は？

1位 リビング

2位 寝室

3位 トイレ

このほか、ほぼ全室を漆喰にしたい、店舗開業や賃貸物件のリフォームという方も。

Q.施工予定の下地は？

1位 壁紙

2位 砂壁

3位 石膏ボード

漆喰DIY教室では実際に壁紙または砂壁の上に、漆喰うま〜くヌレールを塗る体験ができます。

体験談

質問できて疑問も解消！楽しかったです。

コンクリートに貼られた壁紙を剥がして施工ができるか知りたくて参加しました。説明もわかりやすく、とても参考になりました。漆喰は仕上がりがおしゃれなだけではなく、湿度調節もしてくれるというのがいいですね。

千葉県 A.Hさん



Aさんが実際に塗ったボード。漆喰の質感を活かした仕上げを練習され、とてもアーティスティックな仕上がりに！

漆喰DIY教室は、漆喰うま〜くヌレールが塗られた体験ルームで私たち社員が漆喰の魅力や塗り方など、わかりやすくお伝えしております。初めて漆喰を塗る方でも、楽しみながら漆喰を塗ることができます。少しでも気になった方はぜひ一度、漆喰DIY教室に参加してみてください！

DIY教室担当：赤松



うま〜くヌレールLABO 京都
■京都府京都市中京区市之町170
地下鉄二条城前 徒歩2分
JR二条城駅 徒歩5分



うま〜くヌレールLABO 東京
■東京都台東区東上野3-38-4
JR上野駅 徒歩5分
地下鉄上野駅1番出口 徒歩2分



ショールーム(漆喰デザインスタジオ)
漆喰空間を体験できます。予約不要の見学会と、個別相談(要予約)を実施しています。
■東京都台東区東上野3-38-4

<https://www.umakunureru.com> (ご予約はサイトから)

<https://shikkuistyle.com>



経年劣化や自然災害で
壁がボロボロ……
これって諦めるしかない？

建物の寿命を縮める 劣化壁の放置

見て見ぬふりはNG！

築年数が経って大きなひびが入ってしまった古壁や、崩れてしまった土壁、風雨に晒されて漆喰が剥がれてしまった外壁など。「一部分だけだから」と見て見ぬふりをしていますか？

補修が必要な壁を放置すると、欠損部分から雨が染み込み、躯体自体が腐食して建物全体の寿命を縮めてしまう可能性が見ただけではなく、安全性の面からも劣化した壁は速やかに補修をすることが大切です。

しかし、壁の補修となると、プロに頼まなければならぬと、コスト面で諦めている方も多いのではないのでしょうか？

After



Before



当社漆喰工事による古壁の補修の様子。神奈川県H様邸。

NEW

漆喰うま〜くヌレール 厚塗り補修用



最大10mmまでの厚塗りが可能。壁の穴や隙間を自分で補修するための厚塗り用漆喰。塗り面積：5mm厚で約2.4㎡/10mm厚で1.2㎡。容量：5kg。

漆喰で壁が美しく蘇る。
私たちに任せください！

しかし、材料を選べば古壁の補修は自分でもできます。今回は、新商品「漆喰うま〜くヌレール 厚塗り補修用」と「漆喰うま〜くヌレール 困ったときのプライマー」を用いた、DIYによる補修方法を詳しくご紹介します。お住まいや蔵の補修はもちろん、古民家のリノベーションにも大活躍しますのでぜひご参考ください。

また、やっぱり補修はプロに任せたいという方は、ただ直すだけではなく、漆喰で美しく仕上げる、当社漆喰工事もご活用ください。

漆喰工事についてはこちらのサイトへ：<https://shikkuistyle.com>



＼補修しながら美しい漆喰壁にリフォームできます！／



01 施工壁面の状態確認

ほうき等で表面の脆弱部分を落とします。劣化が激しく剥がれる場合は、劣化部分をしっかりと除去します。



02 「困ったときのプライマー」を塗布
製品を水で2倍に薄め(1:1)、刷毛またはローラーで全面に2回塗布します。



03 損部を「厚塗り補修用」で埋める
下地に擦り付けるようにこてで表面を均し、周囲との高さを合わせます。

NEW

漆喰うま〜くヌレール 困ったときのプライマー

漆喰にとって最適の浸透力、密着力を発揮するオリジナルのカチオン系プライマーです。下地の弱っている箇所を強化します。漆喰DIYの現場で起こる「困った」や「不安」を解決する漆喰塗りのための専用のプライマーです。2倍希釈でご使用ください。(1kg)



04 仕上げ材を塗る

材料が完全に乾いたら、「漆喰うま〜くヌレール」または「漆喰うま〜くヌレールPRO」で全面を塗って仕上げます。
※PROを使用する際は専用下塗り材が必要です。

ありそうでなかった 新アイテムも登場！

漆喰うま〜くヌレールをこて板に取り出す際に、サクッと軽い力で漆喰がすぐえるしゃもじと、細かい部分が塗りやすいヘラが新登場！

しゃもじは自立するので施工中でも部屋が汚れにくく、ゆびヘラは指に装着して塗るので思い通りに塗ることができます。

ここがポイント！

とんがりフォルムが容器の隅にフィットして無駄なく漆喰を取り出せる。先端を使って使用途中の漆喰の表面を均せば、フィルムが密着して、より良い状態で保管できます。

漆喰うま〜くヌレール NEW しゃもじ&ゆびヘラ

漆喰うま〜くヌレール専用の取り出し用「しゃもじ」と、狭くて細かな施工も手軽に塗れる「ゆびヘラ」のセット。



スイッチボックスの周辺、壁の角など、狭い箇所はこの「ゆびヘラ」がいい！指にはめ、しなりを使って簡単に塗ることができます。



イタリア南部プーリア州アルベロベッロにある、世界遺産トゥルッリは漆喰を用いた伝統家屋群。研修では当社社員がトゥルッリの漆喰を塗り替える貴重な経験も。



創業から95年、日本の住宅トレンドが塗り壁から壁紙に移り変わっても、「日本中のお住まいを、壁を通じてより心地よく、素敵にする」をモットーに、漆喰をはじめとした塗り壁材の製造販売を続け、日本プラスターは漆喰の国内トップメーカーにまで成長しました。しかし、私たちの夢はまだ道半ば。「漆喰を壁紙市場の10%まで拡大させる」ために日々精進し、日本はもちろん、世界中の先達に学んでいます。

今年の5月には製品の開発と品質向上に携わる技術部社員と、漆喰工事の現場でこつを握るしゅくい左官社員の2名が、漆喰の本場イタリアでの研修を終え帰国しました。

「イタリア研修レポート」
社員2名のイタリア研修が終了。
この驚きと学びを今後の糧と実績に。

■ 研修を終えて

研修では漆喰ペーストメーカーの試験施工や、ベテラン左官による漆喰施工の現場を見学。そこには日本の漆喰では考えられないような使い方、「出来たらいいな、でも出来ないよな」と思っていた施工が目の前に広がっていました。材料も人もイタリアは想像以上で圧倒されっぱなしでしたが、この経験をぜひ日々の製品作りに活かしたいと思います。
(技術部 尾島輝彦)



ホームセンター業界最大の総合展示会に出展します！

8月29日(木)から31日(土)にかけて、幕張メッセ国際展示場で開催される「第60回 ジャパン・DIYホームセンターショー 2024」に、出展します！

展示会では「漆喰うま〜くヌレール」と「漆喰うま〜くヌレールPRO」の試し塗りができるほか、当社社長、しゅくい左官社員、DIY教室講師による漆喰塗りの実演、10ページでご紹介した新商品の施工サンプル等をご覧ください。

来場者特典

- 1 会場で商品をご購入いただいたお客様には、最大50%OFFクーポンが当たる空クジなしのルーレットに挑戦いただき、その場でお値引き！商品は後日ご指定場所までお届けします。
- 2 アンケートにお答えいただいた方、先着500名様に、漆喰うま〜くヌレール5kg缶のミニチュアキーホルダーをプレゼント！





漆喰スタイル
SHIKKUI STYLE

日本プasterの漆喰工事

File.05

SHIKKUI STYLE INTERVIEW



漆喰壁で
もっと自由で、
もっと美しく、
もっと有意義に。

生活の中心にある「家」。そこはただ寝て、起きて、栄養を補給する場所ではなく、時に癒され、心動かされ、嬉しい時も悲しい時も、自分自身や家族との日常を積み重ねる大切な場所。だからこそ、そこには気持ちが弾むような遊び心や、「ああ、いいなあ」としみじみ思える瞬間に溢れていて欲しいと私たちは願います。今回は築50年ほどの生家をフルリノベーションした、とあるお住まいの小上がり和室と、そこを飾る漆喰壁をご紹介します。

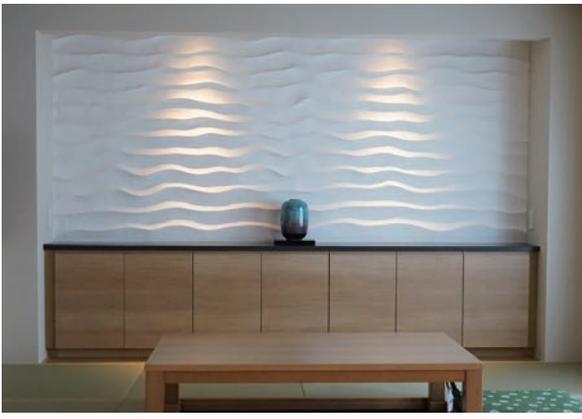
神奈川県 M様邸

工 事:新築
材 料:漆喰くるむ内
カラー:白
仕上げ:造形

きつかけはポスターにあつた 小さな写真。

「今回のリフォームをお願いしたハウスメーカーのポスターに、小さな写真だったので今回仕上げてもらったような壁の写真を見つけて、こんな風にデザイン性のあるものができたらいいなと考えました。写真の壁が何で作られているかはわかりませんが、私の友人に漆喰で仕上げた家に住んでいる人がいて、漆喰は身体に優しいことなどを聞いたことがあったので、漆喰でこのような壁ができないかと、まずはハウスメーカーに相談をしました」

そう振り返るのは施主のM様。築50年近いご自宅を、フルリノベーションするにあたって、細部までこだわったそうで



こだわったライトは無灯火から3段階あり、壁だけでも変化が楽しめ、花器を置けばまるで美術館の展示のよう。ここに植物も合わせたいと考えていらっしゃるそうです。

す。今回、当社が造形を担当したこちらの和室は、高級旅館の一室をイメージされ、漆喰の造形壁はその最後のピースだったのだとか。

「ハウスメーカーには大きな面に大々的にデザイン性を持たせたいと思っただけで、霧囲気のある感じに仕上げたいという点、霧囲気のある感じに仕上げたいという点などを伝えました。」

私たちはお酒も好きなので、ここでゆっくりとお酒を楽しみたいなと思って、霧囲気のある感じにして欲しかったんです。ですので、壁を照らすライトは壁の凹凸がきれいに見えるよう設計してもらいました。仕上がりを見るとライトを当てた時の影はもちろんです。自然光だとまた違った霧囲気になって、一日の中でも様々な表情があつて、おしゃれだつて思っていますね。」

色の説明や造形サンプルで 満場一致の決断。

漆喰の造形壁を作りたいと相談したところ、ハウスメーカーから当社の漆喰工事の紹介を受け、東京都上野にあるシヨールーム「漆喰デザインスタジオ」を訪れました。スタジオでは、実際の色見本をもとにイメージを固めていったそうです。

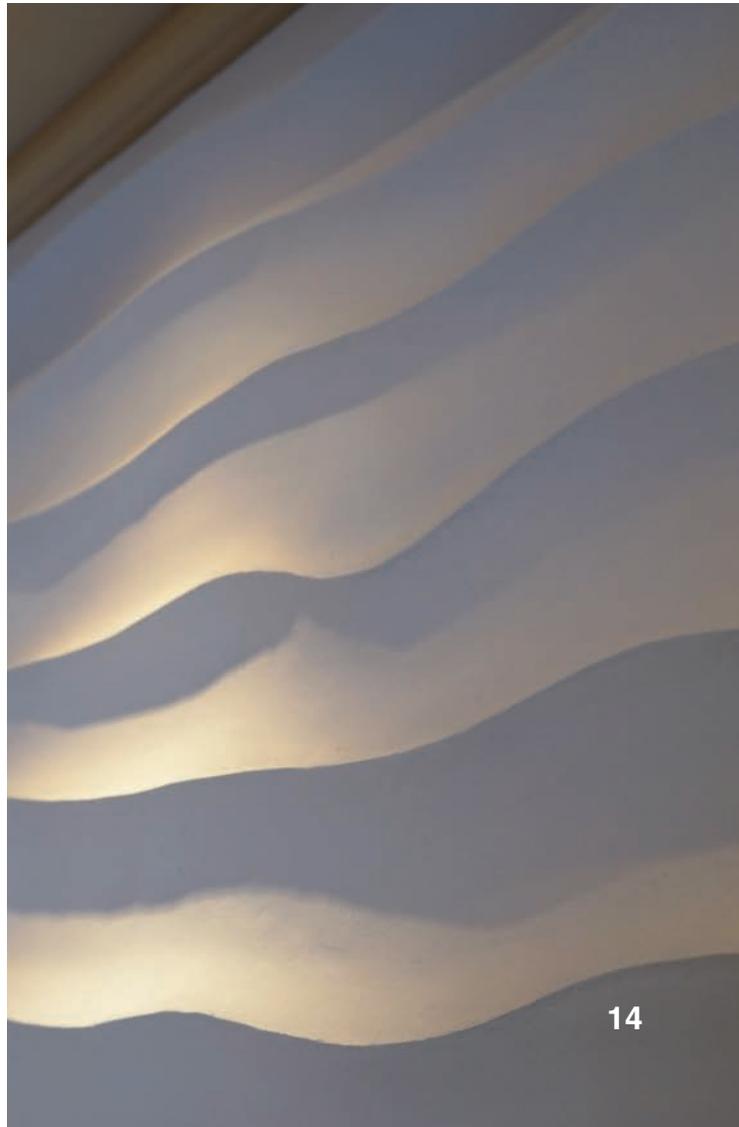
「壁に接するカウンターの天板の色が黒に決まっていたので、最初はそれに合わせてグレーっぽい色にしようかと思っていたのですが、白の方が部屋が明るく見えるんじゃないかと考え、スタジオでは様々な色を見せてもらいました。」

白だけでもちょっとピンクがかつていたり、たくさん色があるんですね。たくさん色見本をライトの光だとこう見える、自然光だとこう見えると、とても細かく説明していただきました。

いくつか候補を出した後に、実際に左官職人さんが作った漆喰造形のサンプルを3種類持ってきていただきました。白とグレーとベージュ系の3種を見て、やっぱり白だねと家族の意見が一致し、色は白に決めました。」

造形のイメージと色が定まり、いよいよ施工が始まります。今回は諸事情により、施工は二家が入居されてからの作業となりました。

「上野のスタジオに行った時、アールの



天井がとてもきれいでびっくりしたので、今回はその天井を塗った方が施工をしてくださいました。平らな壁に台形の山みtainいものができて、それがどんだん形になっていく。こんなに広いスペースなのに、本当に細かい作業をしてくださっていました。家族みんな作業を見ることができたのですが、それも面白い経験でしたね。」

3人で並んで壁を見て 「やってよかったね」。

「壁が完成した日は、三人で並んで壁を鑑賞しました。ライトをつけて、やっぱりすごいね、やってよかったねと話しましたね。」

まるで美術館みたいですよ。今飾っている花器はもとと家にあったもので、他にもここに飾ろうかって話している花器があるんです。それも、壁を白にしたことで様々なものが合うと思うんですよ。今は花器だけですけれど、ここに枝物を生けたらどんな風に映えるかなと考えています。

まだ家のリフォームが完全に終わっていないので、少しバタバタとしています。が、全てが終わって落ち着いたら、ここでお酒を飲みながらゆっくりとした時間を楽しみたいですね。」

貴重なお話をありがとうございました。



「いい親孝行をしてもらった」と語られたお母様と3人、壁を眺めるM様ご一家。

実は個人的に今回のような壁を造りたいと考えていたので、私と同じようにこの壁が好きで、しかもご自宅に作りたいと思われる方がいらしたことは少し驚きました。施工では下地作りの段階から、とても喜んでいただけました。この喜びとご縁を大切に、私の手で仕上がりのご満足、目の前の施工で思い出を作る。そんな壁を完成させようと強く思いながら仕上げました。



施工担当
工事部 江端 理

はじめにお話をいただいた時から、当社なら実現できると確信していました。当初は黒に近い色をご希望されましたが、これは白が合うのではないかと、グレーと白、そして黄土色をご提案させていただきました。結果としてご期待に応えることができたことを、嬉しく思っています。ぜひこの壁を眺めながら、美味しいお酒をお楽しみください。ありがとうございました。



営業担当
工事部 新里 武彦

漆喰散歩

漆喰ファンによる、漆喰空間を楽しむ (fun) コーナー。
 毎号漆喰空間が心地よいお店をご紹介します。
 今度の休日にちょっとそこまで足を伸ばしてみませんか？

埼玉県新座市 【Ringa Yoga】

vol.03



2023年10月にオープン。「冬の間も結露がなかった!」と驚いていた土屋さん。忙しい日常から少し離れてリラックスできる快適な空間です。

「スタジオ名のRinga(リンガ)は、ニュージーランドのマオリ語で手という意味です。出逢った皆さんと手を取り合って、繋がっていったらという想いが込められています」。そう語るのには、スタジオのオーナーでインストラクターの土屋千尋さん。クリーム色の漆喰うま〜くヌレールで塗られたスタジオは、窓からの日差しを受けて、優しい光で満ち溢れています。

このスタジオは交通量の多い道路に面しています。だから、せめて室内には自然な物を使い、いなと、以前から興味のあった漆喰に決めました。そこで、DIY教室に参加して、自分でもできるって分かったので、友人と一緒に全面を漆喰で塗りました。よく見ればアラもあるんですけど……それも含めてなんかいいなって(笑)。自然体で大らかな土屋さんの人柄を映し出したような心地よいスタジオで、心身ともにリフレッシュしてみませんか。

明るく大らかな空気に満たされた
 自然体のヨガスタジオ。



Ringa Yoga

埼玉県新座市片山2丁目11-24
 (カタニデベーカリー2階)

公式Instagram

レッスンスケジュールは
 HPまたは公式Instagramを
 ご確認ください。
<https://www.ringayoga.com>

人気の
レッスン

ベーシックなレッスンのほか、元保育士の経験を活かした子連れヨガなど、豊富なレッスンが人気。

ここが
自慢の壁

土屋さんが仕上げたこちらの壁。新しい物と古い物が共存する心地よさがスタジオを象徴しています。

「漆喰散歩」では、漆喰うま〜くヌレールでDIYをしたお店、施設を募集しています。お店の情報は本誌の他、SNS、公式サイトにてご紹介。掲載希望は下記メールアドレスまでご連絡ください。



発行

日本 plaster 株式会社

<https://www.plastesia.com>

「漆喰と暮らそう」についてのご意見・ご感想をお聞かせください▼

E-mail:info@plastesia.com

うま〜くヌレールサイト

漆喰スタイルサイト

公式Facebook

公式Instagram



本社・工場

〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
 TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851・SHIKKUI Design STUDIO -TOKYO-
 ・埼玉事業所・西日本営業所